

●第165号(二〇〇九年一月)

特集「横浜市民生活白書2009」を読み解く

1 様々な角度から見た市民生活白書

① 福祉社会への入り口―横浜市民生活白書2009を説く

② 「横浜市民生活白書2009」の概要

③ 不安の時代に生きる8つの市民像

④ 子育て支援から見る市民生活の課題と今後の方向性

⑤ 市民像と地域性に着目した施策展開の重要性

⑥ 超高齢社会への対応の視点から

⑦ 変化する時代の雇用政策

⑧ 区民意識調査から見る区の多様性

⑨ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑩ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑪ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑫ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑬ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑭ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑮ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑯ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑰ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑱ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑲ 意識調査から見えてくる区民の特性

⑳ 意識調査から見えてくる区民の特性

㉑ 意識調査から見えてくる区民の特性

㉒ 意識調査から見えてくる区民の特性

㉓ 意識調査から見えてくる区民の特性

㉔ 意識調査から見えてくる区民の特性

㉕ 意識調査から見えてくる区民の特性

㉖ 意識調査から見えてくる区民の特性

㉗ 意識調査から見えてくる区民の特性

㉘ 意識調査から見えてくる区民の特性

㉙ 意識調査から見えてくる区民の特性

㉚ 意識調査から見えてくる区民の特性

4 「地域運営」の現在

① 栄区の地域・元気づくりの取組

② 鶴見寺尾地区のまちづくり推進協議会の取組

③ ドリームハイツ住民主体の地域運営から見えるもの

④ 西区地域力推進担当の取組から見る地域運営

⑤ 地域力向上に向けた区役所の機能強化

⑥ 「市民主体の地域運営」の今後

⑦ 横浜のコミュニティのこれまでとこれから「地域運営」

⑧ 調査研究レポート

Aグループ

地域コミュニティ活動を楽しく進めることによる地域課題の解決

Bグループ

2025年を展望した「持続可能な地域コミュニティ」の形成施策 ―「共感」が生み出す「地域活動の好循環サイクル」を推進力に―

池澤一郎・中村 拓・大木節裕・新藤信孝・深川敦子・稲葉幸保

「横浜会議」からの報告

対等なパートナーシップに基づく「協働契約」のあり方の研究

原 美紀

●第167号(二〇一〇年一〇月)

特集「新しい社会的セーフティネットとは」

1 (座談会) 今、求められている新しい社会的ネットワークとは

2 生活困難な人々と生活支援のあり方―伴走機能の社会化に向けて

3 新たなセーフティネットの取組み

① 教育の現場から

② 人生前半(子ども、若者)の社会保険を支える体系的支援

③ 住宅とケアの連携―高齢者を中心として

④ 大都市郊外の人口変動と家族の「解体ステージ」

⑤ 社会的セーフティネット形成のための政策フレームの研究―まとめ―

調査研究レポート1

Cグループ

グリーンコンベンション都市の確立―横浜への交流人口増と市内消費拡大をめざして―

橋本 健・河井一広・星崎雅代・島田健治・福山一男・村田守廣

Dグループ

住民主体の基礎自治体の設計と地域の意思決定システムの検討

小野崎信之・南有理・五十嵐誠一・井関敏也・花内 洋・高嶋賢一

調査研究レポート2

史上初の「市民創発事業」が生んだもの

〔開国博Y150テーマイベント〕「ビルサイドエリア」で何が起こっていたか

福前明日香・石塚清香・御調知伸・沼田真一

あとがき

「調査季報は事業紹介ではない。―この一年間、調査季報編集の仕事をしたが、何度も聞いた言葉です。今号の発行にあたって、この言葉の意味するところを考え、色々な方に執筆をお願いし、原稿をいただきながら、葛藤する日々でした。」「特に本市職員の執筆者には、単に、自分の担当した業務を紹介するのではなく、自分の感じたこと、苦労したことを(自分の言葉)で語って欲しい。直接、現場でその業務に携わり、酸いも甘いも知り尽くしているいちばんの「当事者」は執筆者自身なのだから。そこに調査季報を発行し続けている意義がある。」「…なんてことなのかな、というのが、この言葉への今のところの自分なりの解釈です。」

今号においても、執筆者の(自分の言葉)が読者の皆さまに届くことがあれば、編集の立場から関わった者として幸い至極なことでありたい。発行を続ける意義、といえは、種々雑多な障害に遭いながらも、どうやら、この「調査季報」は23年度もなんとか発行し続けられるようです。心配していただいた各方面の諸氏に編集部一同感謝しております。(唐澤)

編集・発行

横浜市都市経営局政策課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1
TEL. 045-671-4087
FAX. 045-663-6561

2011年3月発行

ISSN0387-8899

印刷/亜細亜工業写真株式会社

500円(消費税込み)